

神奈川地本のキャラクター『はまにゃん』が市街地広報を応援

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長平原1陸尉）は、12月2日（水）、横浜市営地下鉄弘明寺駅近くの商店街「弘明寺かんのん通り」で市街地広報を実施した。

当日は生憎の小雨ではあったが、この通りはアーケード街ということもあり、神奈川地本のキャラクター『はまにゃん』の応援を受けて実施した。京急本線と横浜市営地下鉄の弘明寺駅間の連絡道になっているこの通りは、近くの高校生や中学生などが多く通る商店街で、制服や部活動後のジャージ姿の学生が広報官の声掛けに立ち止まっていた。また子供達が『はまにゃん』に駆け寄り、母親の写真撮影に笑顔でポーズをとっていた。現在、就職先を迷っているという高校生は「自衛隊の事が気になっていたので、自衛官の話が聞けて良かった」と話し「まだ分からないことが多いので、色々説明を聞きたい」と、後日事務所での説明を受けに来ることを約束した。また、街の人からは「いつも自衛隊には感謝しており、今後も応援します」と、声をかけて頂いた。

横浜中央募集案内所はこのような市街地広報で地域の方に自衛隊を理解してもらおうと共に、種まき広報を地道に継続することにより、今後の募集成果につながるよう努力していきたいとしている。



神奈川地本キャラクター『はまにゃん』が市街地広報を応援



横浜市南区商店街連合会 長谷川会長（右）も応援に駆け付けて頂いた（左は、地域担当の廣森1海曹）

航空自衛隊入間基地見学 「入隊したい気持ちが強くなった」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長平原1陸尉）は、12月4日（金）、航空自衛隊入間基地の部隊見学に対象者を案内した。当日は、まだ進路を決めかねている一般曹候補生と自衛官候補生合格者の、男女2人が参加した。入間基地に到着すると感染防止処置後、まずC-11格納庫前で航空機の離発着訓練を見学した。引き続き訓練を終えて滑走路から帰って来る航空機の誘導要領などを担当者から教わった。次に格納庫に移動して、担当の和泉1空曹からC-11輸送機の概要や整備士の仕事などの説明を受け、操縦席なども見せてもらうと、2人も初めての体験で感激している様子だった。

その後は、職種が調達員という大高3空曹から調達業務について話を聞き、彼女の所属部隊である第4補給処前で記念撮影した後、入間基地を後にした。帰りの車中で、女性の参加者は「今回の見学で一般曹候補生として入隊したい気持ちが、強くなりました」と話し、男性からは「航空自衛隊のことは何も知らなかったけど詳しく教えてもらって、不安を解消できました」と、今回の見学の成果を確認できた。

横浜中央募集案内所は、「今後も個別の『つなぎ広報』を実施し、自衛隊を理解してもらおうと共に、合格者の入隊率向上を図ってきたい」としている。



C-11 輸送機前で記念撮影
（左から中村さん、和泉1空曹、富永さん、前田1陸士）



大高3空曹（右から2番目）及び同行した前田1陸士（左から2番目）と懇談する参加者



第4補給処前で記念撮影
（左から案内役の榊山広報官と参加者の富永さん、中村さん、右端は大高3空曹）